

会館つくって委員会次第

日時：令和8年1月26日(月) 10時～

場所：日田商工会館 4階 大会議室

1. 委員長あいさつ

2. 議 題

(1) 副委員長選任について

(2) 事業について

1. 会館建替PJについて . . . 資料①
2. 会館建設のスケジュールについて . . . 資料②
3. 会館建設工事設計プロポーザル方式
に要領・要綱（案）について . . . 資料③
4. 審査員の委嘱（案）について . . . 資料④

(3) その他

会館つくって委員会

| 氏名 | 事業所名 | 住 所 | 電 話 | F A X |
|-----------|------------------|--------------|--------------------------|-----------|
| 委員長 佐々木美德 | (有)寶屋 | 元町13-1 | 24-4366 | 24 - 4367 |
| 角 弘起 | (株)想夫恋 | 大字友田110-5 | 23-9360(事) 24-3188(店) | 23 - 9324 |
| 江藤 秀平 | (株)大日 | 大字高瀬1248-1 | 23-8111 | 23 - 7311 |
| 高嶋 秀武 | (株)平成建設 | 大字有田字水目316-1 | 22-4137 | 22 - 4006 |
| 諫本 憲司 | 日田地区原木市場協同組合 | 三本松2丁目3-1 | 24-6035(組) 22-5117(会) | 24 - 2100 |
| 梶原 義一 | 日田電気工事業協同組合 | 本庄町6-26 | 23-2363(組) 24-2273(会) | 23 - 7676 |
| 河津奈津子 | (一社)日田市観光協会 | 元町11-3 | 22-2036(協) 24-0104(店) | 22 - 2444 |
| 森山 和浩 | 日本フォレスト(株) | 大字東有田2813-22 | 26-0750 | 26 - 0760 |
| 畑 日出雄 | KCVコミュニケーションズ(株) | 本町6-3 | 27-5001 | 27 - 5002 |
| 高倉 頼利 | (有)高倉スレート工業 | 大字三和2694-1 | 24-9825 | 24 - 9325 |
| 高倉 貴子 | 日田時報紙器印刷(株) | 大字二串345-3 | 24-2755 | 24 - 2776 |
| 菅 政哉 | 九電ネクスト(株)日田営業所 | 玉川町586-1 | 22-6904 | 22 - 8601 |
| 中村 広樹 | ベストリビング(株) | 大字東有田1160-7 | 24-6211 | 24 - 2550 |
| 加納 信男 | (株)日田ビル管理センター | 玉川3丁目624-22 | 22-2525 | 22 - 1023 |
| 高嶋圭一郎 | (有)高嶋紙器 | 大字小野15 | 24-9116 | 24 - 9110 |
| 吉光 康朗 | (株)日本シャッター産業 | 大字北豆田1733-24 | 22-5066 | 22 - 5398 |
| 横山 俊英 | (株)ネクスト | 大字東有田2776-16 | 24-4800 | 24 - 2803 |
| 佐藤 浩之 | (株)HIRODEN | 大字高瀬3986-4 | 23-8768 | 23 - 8792 |
| 深津 信一 | (株)深津製材所 | 大字内河野87-1 | 22-5267 | 24 - 6828 |
| 大石美智子 | (株)萬屋 | 隈1丁目3-12 | 22-3138 | 23 - 3300 |
| 中島 幸生 | (株)ワイケイティリース | 大字西有田1315-1 | 26-0089 | 23 - 7857 |

| | | | | |
|-----------|-------------|--------|---------|-----------|
| 副会頭 小ヶ内聡行 | オガウチ濱田税理士法人 | 中本町4-1 | 22-3448 | 22 - 1440 |
|-----------|-------------|--------|---------|-----------|

担当職員 大石・春口

R7.11～

Hita City



日田商工会議所会館 建替PJ



01

概要説明

名称：日田商工会議所会館建替プロジェクト

住所：大分県日田市三本松2丁目2-16

用途地域：商業地域、近隣商業地域

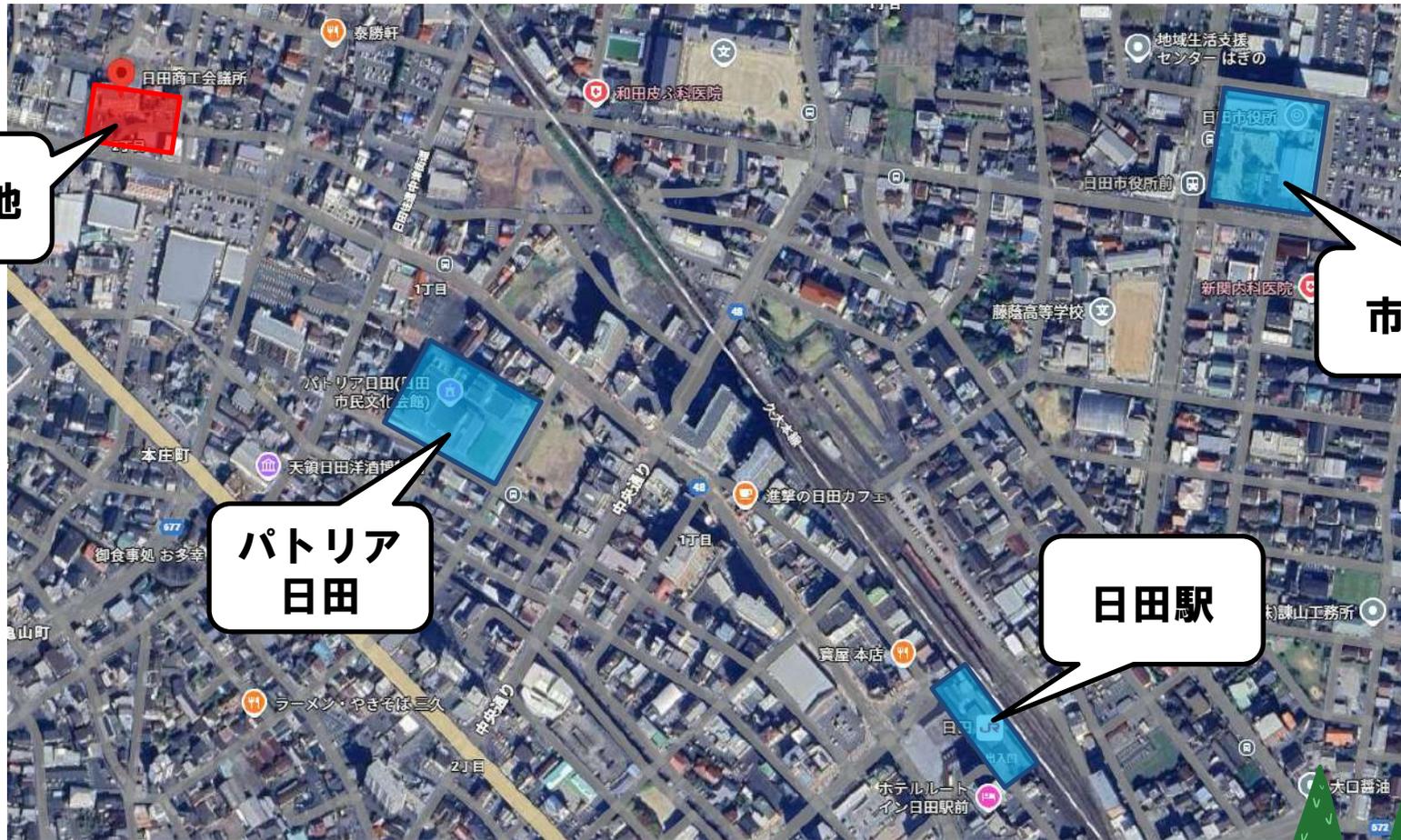
施工時期：未定

敷地面積：2307.83㎡

**構造：木造 or 木質化した構造
地上2階**



02 建設予定地



建設予定地

パトリア
日田

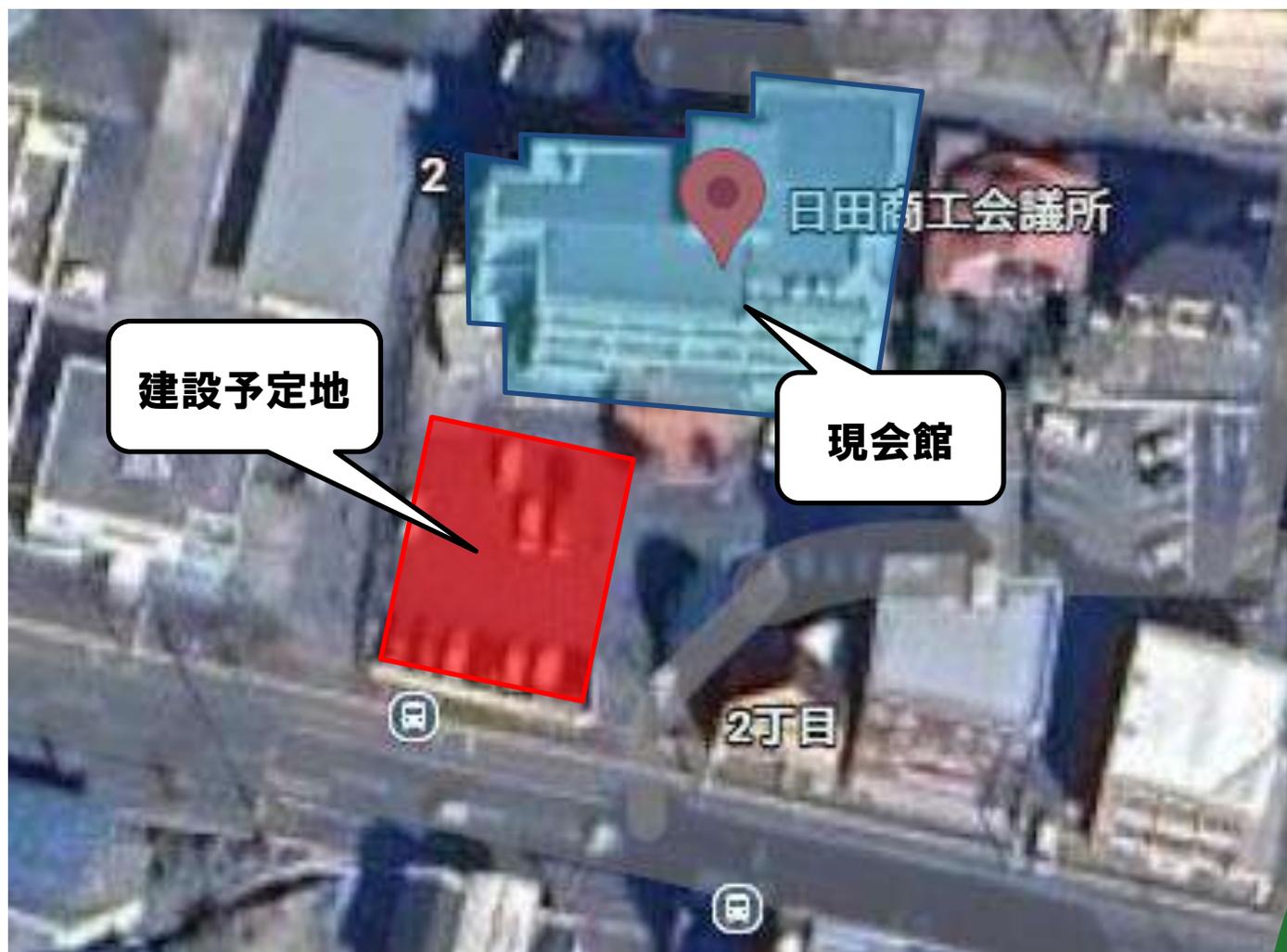
市役所

日田駅

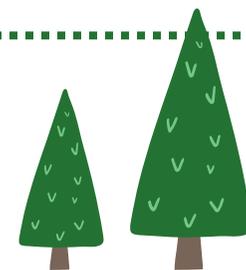


03

建設予定地



04 コンセプト



01

地域商工業振興の拠点

02

日田らしさの発信

03

交流・コミュニティの拠点

04

観光振興の拠点

05

街のシンボルとしての機能

Concept
of Project

05

日田らしさの発信

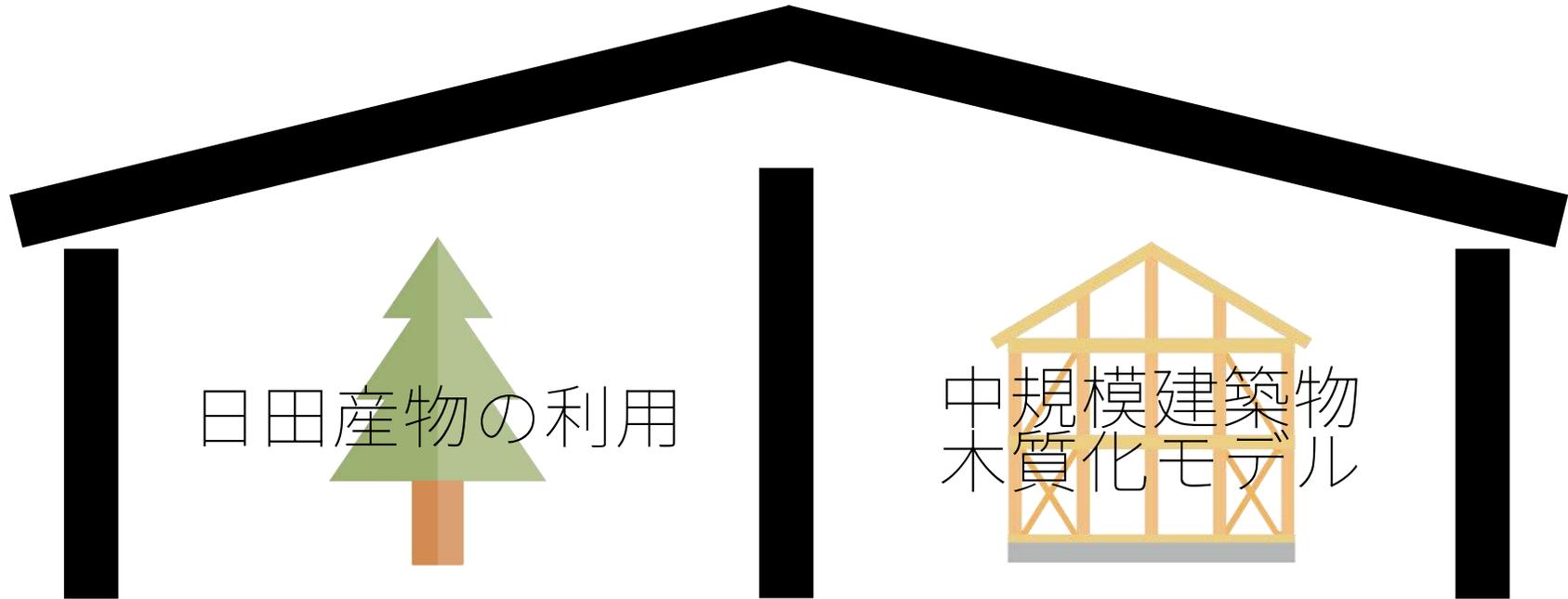


人と自然が共生するまち



04

「天領」の魅力を表現するために



全国的にも主要生産地域である
日田杉/桧を用いる
外装材に用いることで林業産地
のシンボルとしてインパクト大

木造建築物の大規模化へ向けた
モデル現場としての魅力
国産材(日田産材)の建築用途と
しての利用拡大へ向けて



2022年 日田商工会議所が現地見学
外壁に木質の格子耐力壁を設けている
内装材にも多くの地元産木材を使用
JIA日本建築大賞 優秀作品

飯能商工会議所

埼玉県飯能市





2022年 6月3日

日田商工会議所として
飯能商工会議所を見学

埼玉県 飯能市

古くは林業と織物の街として栄えていた
平成17年「森林文化都市」を宣言
自然と都市機能が調和した暮らしやすい
都市を目指したまちづくりに取り組む

「西川材」杉、檜の産地として有名
江戸時代「江戸に西の川から来る木材」
として林業地として栄えた背景がある

⇒日田市と同じような歴史を持つ

飯能商工会議所

埼玉県飯能市

設計コンセプト「庭」

公と私をつなぐ半公共的な場として庭を再現し、通り(商店街)に新たな賑わいを創出する



多彩な架構計画

最先端の構造解析・木質構造技術
と軸組工法の融合による



CLT平行弦トラス



組子格子耐力壁



CLT折版構造

内装での地元産材の利用

家具には製材の端材を多く転用eco



大会議室



中会議室



小会議室



階段室



事務室



事務室



ワークスペース

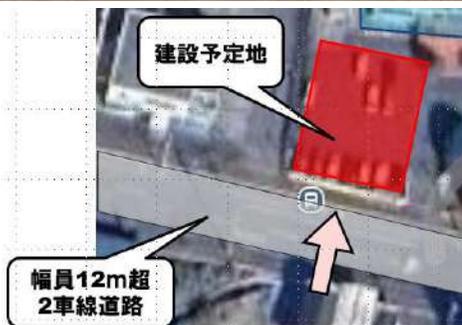


給湯室

10

外観イメージ



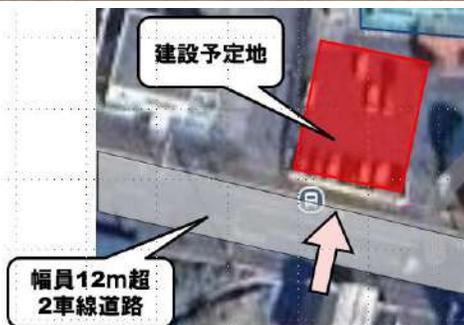


Before



12

外観イメージ



Before



13

求められる機能

働く人々の
モチベーション
が上がる



思わず
立ち寄りたくなる
雰囲気



使いやすく
長く居たくなる
空間づくり



何の建物？
と聞きたくなる
インパクト



魅力ある建物を設計できる建築士

働く人々の
モチベーション
が上がる



思わず
立ち寄りたくなる
雰囲気

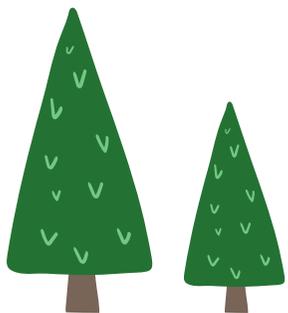


使いやすく
長く居たくなる
空間づくり



何の建物？
と聞きたくなる
インパクト





街の魅力を
向上させ
未来につなげる



THANK YOU!

ありがとうございました

日田商工会議所会館建設スケジュール

| 2026年 令和8年 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---------------|-------|----|-------|------------|-----|------|------------|----|------|-----|-----|------|
| | 設計・建設 | 準備 | 公示 表明 | 一次審査 総会 | 提案書 | 二次審査 | 設計契約 総会 | | 基本設計 | | | 実施設計 |

| 2027年 令和9年 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---------------|-------|------|----|----|---------|----|----|----|------|-----|-----|-----|
| | 設計・建設 | 実施設計 | | 総会 | 建設工事・入札 | | 総会 | | 建設工事 | | | |

| 2028年 令和10年 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------------|-------|------|----|----|----|----|----------|----|-------------|-----|-----|-----|
| | 建設・解体 | 建設工事 | | 総会 | | | 引越 総会 | | 既存建物解体・外構工事 | | | 総会 |

日田商工会議所会館建設工事設計プロポーザル実施取扱要領

(令和8年1月)

1. 主旨

日田商工会議所会館新築工事での設計委託業務について、調査、設計、計画策定等業務のうち、高度な技術、専門的な技術又は豊富な経験に基づく判断が要求されるもの等の契約に当たりプロポーザル方式により受託候補者を特定しようとする場合の事務取扱については、この要領の定めるところによる。

2. 定義

(1) この要領において、プロポーザル方式とは、委託の受託候補者を特定する場合において、一定の条件を満たす提案者を公募又は選定し、当該委託に関わる実施体制、実施方針、企画技案等に関する提案書の提出を受け、原則として提出された書類をもとにヒアリングを実施した上で、当該提案書の審査及び評価を行い、当該委託の履行に最も適した受託候補者を特定する方式をいう。

3. 対象

次に掲げる事項について、競争入札によらず、プロポーザル方式により受託候補者の特定を行うことができる。

(1) 高度な創造性、技術力、専門的な技術又は経験を必要とする業務

4. プロポーザル方式による発注の決定について

プロポーザル方式による発注を行う場合は、正副会頭会議に諮り、プロポーザル方式の適否及び公募型若しくは指名型のいずれかを決定し、日田商工会議所会館作って委員会（以下「建設委員会」という。）の承認を得る。

5. 業者決定審査委員会の役割

(1) プロポーザル方式により受託候補者を特定しようとする場合は、プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」）において審議するものとする。

(2) 審査委員会は、外部委員4名（内日田市1名）と内部委員1名の合計5名とする。選任については正副会頭が選任し、建設委員会にて承認を得る。

審査委員長については、公平性等を考慮したうえで学識経験者等を選任する。

(3) 審査委員会は、受託者をプロポーザル方式により特定することとした業務について、次に掲げる事項を審議しなければならない。

① 実施要領の作成

② 評価の着眼点、評価項目及びそのウエイト、評価基準、ヒアリングの有無その他採点が同点の場合の取扱等受託者の特定に必要な事項の設定。

③ 公募型プロポーザル方式による場合における参加条件の決定

④ 指名型プロポーザル方式による場合における提案書の提出を要請する者の選定

6. 審査委員会の審議内容の審査

事務局は、受託者をプロポーザル方式により特定することとした業務について審査委員会の審議内容を建設委員会に諮り、公表及び選定業者に資料配布する。

7. プロポーザル審査

- (1) 審査委員会は、委員の定数5分の4の出席をもって成立する。選定委員会の各委員は、提案書及びヒアリングを実施した場合における提案者の提案内容により、評価基準に基づき、独立して提案者の提案の優劣を判定し、合計点により提案者の中から1位の者を決定する。但し、評価項目により一定基準を設定し、評価点が基準に満たない場合は、失格とすることができる。
- (2) 前号の評価点の集計において、評価表の各項目の合計点数で集計を行うものとする。
- (3) 審査委員は、審査委員会での審議において、評価の着眼点、評価項目及びそのウエイト、評価基準について確認をすることができる。ただし、提案書及びヒアリングに基づく各提案者の優劣については、審議しないように努めなければならない。
- (4) 審査委員の採点は、審査委員会で集計し合計点を算出するものとし、審査委員は、その採点が集計及び合計点到適正に反映されているか、その結果を確認しなければならない。
- (5) 審査委員会は、採点集計の結果、業務に支障があると判断した場合、付帯決議を付すことができる。
- (6) 審査委員会における審議の経過及び結果については、事務局において整理し、記録しておくものとする。

8. 審査委員会の評価結果に対する建設特別委員会による承認

- (1) 建設委員会は、審査委員会から評価結果の報告があったときは、次の事項について承認する。
 - ア 審査委員の採点が適正に行われたこと。
 - イ 審査委員会の審議及び採点の集計結果が適正に行われたこと。
 - ウ 審査結果に関し、必須事項以外に公表する事項の選定
 - エ その他必要な事項
- (2) 建設委員会は、前項の規定に基づく審査により、評価が適正に行われたことを確認した上で、受託候補者として特定するものとする。

9. 採用及び非採用についての通知

- (1) 採用する提案を特定したときは、採用者にはその旨を書面により通知するものとする。審査結果に関する問合せ、異議申立ては、一切受け付けない。

10. 契約の締結

採用者には見積書を提出させて価格交渉を行い、予定価格の範囲で契約を締結するものとする。この場合に於いて、受託候補者が提案書に記載した予定技術者等の変更は、原則として認めないものとする。

日田商工会議所会館建設設計監理業務公募型プロポーザル実施要領

1. 主旨・目的

日田商工会議所会館建設基本・実施設計及び工事監理業務を委託するにあたり、木材産地であり、地域資源としての日田材利用促進を図り、先進的モデルとなるような設計図書を作成することを目的に、柔軟かつ高度な創造力と技術力及び、中大規模建築に取り組む情熱と意欲があること。また課題解決ができる設計者を選定するために、公募型プロポーザルを実施します。以下公募に係る手続きについて、必要な事項を定めます。

2. 業務概要

- (1) 業務名 日田商工会議所会館建設設計監理業務委託
- (2) 業務内容 日田商工会議所会館建設工事に係る基本設計・実施設計及び工事監理業務
- (3) 履行期間 契約締結日から令和9年3月31日（予定）まで
- (4) 敷地面積 2,307.83㎡
用途地域 商業地域、近隣商業地域
- (5) 構造・規模 木造又は木質化した構造とする
延べ床面積 775㎡以下
- (6) 想定事業費 2億0千万円程度（建築、電気、機械設備工事）

※測量費、既存解体費、移転費、外構工事費、設計監理委託料、備品購入費等は含まない

3. 選定方法

参加表明書及び技術資料を提出し、第一次審査（書類審査）により5者程度を選定する。第一次審査で選定された者を対象に技術提案書の提出を求め、第二次審査（技術提案書審査・ヒアリング）を実施し、最終選考の上、最優秀1者を選定する。

4. 参加資格

- ① 参加者は次に定める事項を全て満たしていること。
- ② 大分県若しくは日本国内に本社又は支店を有すること。
- ③ 参加表明書の提出時点において、国及び地方公共団体から、建設コンサルタント業務（建築設計業務）に関し、指名停止を受けている期間中でないこと。
- ④ 建築士法（昭和25年法律第202号）第23条の規定に基づく一級建築士事務所の登録を行っている者であること。
- ⑤ 建築士法（昭和25年法律第202号）第10条第1項に規定する懲戒の処分を受けていない者であること。
- ⑥ 平成22年4月以降に日本国内で竣工又は実施設計を完了した新築工事で、2階建て以上かつ延床面積500㎡超の非住宅木造建築施設の新築工事に係る基本又は実施設計業務の元請としての受託完了実績があること。
- ⑦ 会社更生法、民事再生法に基づく更生、再生手続き開始の申立てがなされていないこと。

5. 参加の条件

- ① 配置予定技術者の条件

- ア 管理技術者は一級建築士であること。
- イ 管理技術者及び建築（総合）担当技術者は、参加者の組織に所属していること。
- ウ 配置予定技術者は、参加申込書等の受付日以前に参加者の組織若しくは協力事務所と直接的かつ恒常的に3か月以上の雇用関係を有していること。

② 分担業務分野の再委託

- ア 主たる分担業務分野（建築、総合）を除き、再委託することができる。
- イ 構造分野の再委託先は、建築士法における構造設計一級建築士による設計の関与ができる資格者が所属していること。

6. 参加に対する制限

- ① 当該参加者における協力事務所は、ほかの参加者若しくは他の参加者の協力事務所としての重複参加は認める。
- ② 参加者が提出できる参加申込書等及び技術提案書は、それぞれ1点のみとする。
- ③ 提出された参加申込書及び技術提案書の差替え、追加及び削除は一切認めない。

7. 実施スケジュール

| | 実施内容 | 実施期間 |
|-------|-----------------------|----------------------------------|
| 第一次審査 | 実施要領等の配布 | 令和8年2月 日（ ）から 令和8年2月 日（ ）まで |
| | 参加申込書等に関する質問書 受付期間 | 令和8年2月〇〇日（〇）から 令和8年2月〇〇日（〇）まで |
| | 審査委員会 | 令和8年3月〇〇日（〇） |
| | 質問書に対する回答 | 令和8年3月〇〇日（〇） |
| | 参加申込書等提出期限 | 令和8年3月〇〇日（〇） |
| | 第一次審査会 | 令和8年3月〇〇日（〇） |
| | 選定・非選定通知書の送付 | 令和8年3月31日（火） |
| 第二次審査 | 技術提案書に関する質問書受付 | 令和8年4月〇〇日（〇）から 令和8年5月〇〇日（〇）まで |
| | 審査委員会 | 令和8年5月〇〇日（〇） |
| | 質問書に関する回答 | 令和8年6月〇〇日（〇） |
| | 技術提案書の提出期限 | 令和8年6月〇〇日（〇） |
| | 第二次審査（公開ヒアリング） | 令和8年6月〇〇日（〇） |
| | 特定・非特定通知書の送付 | 令和8年6月中旬 |
| | 契約予定日 | 令和8年6月下旬 |

- 一次審査・・・担当チームの能力、日田材活用課題解決内容
- 二次審査・・・技術提案書審査、公開ヒアリング

プロポーザル応募にあたり

- ・ 応募作品の制作及び送付における費用はすべて応募者をご負担下さい。

- ・ 提出された作品及び資料は返却いたしません。
- ・ 応募作品の意匠、特許、実用新案、商標、著作権などに関するすべての知的財産権は応募者にあります。そのためこれを保護する責任は応募者本人となりますので、応募の際は応募者が自ら必要に応じて権利保護等の措置を講じて下さい。応募作品につき著作権等の侵害による争議が乗じた場合、主催者は一切の責任を負いません。
- ・ 主催者は、受賞作品及び応募作品を展示会やウェブサイト、プレスリリースその他各媒体で使用することができるものとします。
- ・ 質問は質問書の提出により行うこととし、口頭による質問は受け付けません。

個人情報取扱いについて

- ・ 本コンペ応募者の個人情報は、次の目的で使用します。
 - ① 本コンペの審査、結果発表のため
 - ② 本コンペに関する確認事項の連絡
 - ③ 本コンペ候補者として選抜された方の氏名は、主催者が発行する広告、出版物、ホームページ、イベント展示などで公表します。
 - ④ 上記目的の他、ご本人の同意を得た範囲内で利用させていただく場合があります。

8. 参加表明書 及び技術資料の提出

- (1) 提出書類 「参加表明書及び意匠・技術提案書作成要領」に規定する書類
- (2) 提出期限 令和8年3月〇〇日(〇)午後〇〇時まで(必着)
- (3) 提出場所 日田商工会議所 会館建設担当
- (4) 提出部数 作成要領による
- (5) 提出方法 持参又は郵送とする。持参する場合は、土曜、日曜、祝日を除く午前9時～午後5時まで

| 提出書類 | 様式 | 提出部数 |
|-------------------------|-----|--------------------------------|
| ① 参加表明書 | 様式1 | 1部 |
| ② 設計事務所の概要 | 様式2 | 8部 様式2から6をホチキス等で留め(左上1箇所)提出 |
| ③ 設計事務所の実績 | 様式3 | |
| ④ 協力事務所の調書 | 様式4 | |
| ⑤ 実施体制 | 様式5 | |
| ⑥ 日田産物の活用の課題と解決について | 様式6 | |
| ⑦ 質問書 | 様式7 | 1部 |
| 添付書類 ・ 保有資格を証するものの写し | | 各1部 |

9. 技術提案書の提出

- (1) 提出書類 実施要領に規定する書類
- (2) 提出期限 令和8年6月〇〇日(〇)午後〇〇時まで(必着)
- (3) 提出場所 日田商工会議所 会館建設担当
- (4) 提出方法 提出する提案は1案とし、持参又は郵送とします。また、要求した内容以外の書類、図面等は受理しません。(簡単なスケッチ等は可)
持参する場合は土曜、日曜、祝日を除く午前9時～午後17時まで
- (5) 提出図書の作成及び提出に係る費用は、参加者の負担とします。

| 提出書類 | 様式等 | 提出部数等 |
|-------|--|-------|
| 技術提案書 | <ul style="list-style-type: none">・様式自由。 但し A3 サイズ横長片面で 2 枚 (フォント 10 以上)・技術提案課題について記載する。・実施方針や日田産物使用に関し、効果的に活用する方法を記載する。 | 8 部 |

技術提案課題

- ① 本事業に係る施設は、地元日田産物を活用し建築することとしており、中大規模建築の新たなモデルとしての特異点も必要です。建物の機能や特性並びに日田産物の流通実態等を踏まえた実現性、実効性、経済性の高い木造又は木質系建物を設計するための進め方(設計体制)、(活用方法)、(構造、工法)について提案して下さい。
 - ② 実施方針の妥当性
建設コスト、ランニングコスト、工期について次の事項を踏まえて提案して下さい。
 - ・ 総事業費に対する建設コストの適正な低減
 - ・ 省エネルギー化を含むランニングコスト及び CO2 の削減の具体的方策
 - ・ 適正な工期
 - ③ 本事業に係る施設は、中心市街地にあるため、多くの人が集まることで流れを生みまわりの広がりにつながることを期待されます。その中で次の4つのコンセプトについて提案して下さい。
 - 1) 地域商工業振興の拠点
 - 2) 日田らしさの発信
 - 3) 交流・コミュニティの拠点
 - 4) 観光振興の拠点
- ※ 技術提案書は、審査委員会が設計者を選定することを目的として、技術力や企画力等を評価するために、課題に対する提案や業務の実施などについて提出を求めるものです。したがって、今後の設計業務につきましても、必ずしも提案内容に拘束されるものではなく、設計者と商工会議所とで十分協議し、検討を重ねながら進めていくものとしております。

参加表明書等の交付方法

参加表明書等（様式）当該資料は、ホームページから入手するものとする。但し事務局においても1者に各1部を交付することができる。

10. 審査及び評価

（1） 審査委員会の設置

受注候補者の特定にあたっては、審査委員会において審査及び評価を行う。尚、本プロポーザルにおける参加者（参加申込者又は技術提案者）が1者のみであっても審査及び評価を行い、特定の可否を決定する。

審査員は次の通り

| | | |
|-------|-------|--------------------------------|
| 審査委員長 | 井上 正文 | 大分県建築士会元会長 大分大学名誉教授 博士（工学） |
| 委員 | 田中 圭 | 大分大学理工学部准教授 博士（工学） |
| 委員 | 三浦 逸朗 | 日本文理大学工学部建築学科教授 博士（農学） |
| 委員 | 服部 浩二 | 日田市副市長 二級建築士 |
| 委員 | 小ヶ内聡行 | 日田商工会議所副会頭 日田商工会議所会館建設委員会担当 |

（2） 第一次審査

ア 審査方法

参加申込書等の書類審査を行い、技術提案書の提出を要請する者を5者程度選定する。

イ 結果の通知

一次審査の結果は、参加表明者全員に文章で通知します。審査結果に関する異議申立ては一切受け付けません。第一次で選定された者に技術提案書の提出を求めます。

（3） 第二次審査

ア 審査方法

一次審査で選定された者による技術提案書に関する公開プレゼンテーション、公開ヒアリングを実施する。その後非公開による審査及び評価を行い、受注候補者1者及び次席者1者を特定する。

イ プレゼンテーション、ヒアリング時の留意事項

説明者は、総括責任者を含めて3名までとします。技術提案書の説明は、技術提案書のみを用いた内容説明とします。尚、内容はパワーポイントで公開しながら説明をしてもらいます。プレゼンテーションの順番は提案書の受付順とします。

（説明20分以内、説明後審査委員による10分程度のヒアリングを行います。）

ウ 結果の通知

二次審査の結果については、二次審査参加者全員に速やかに結果を文章で通知します。

審査結果に関する問合せ、異議申立ては一切受け付けません。

11. 業務内容

- ・ 日田商工会議所会館建設工事（事務所棟、外構、駐車場整備工事等）の基本設計・実施設計及び工事監理一式
- ・ その他商工会議所が必要と認める業務等

12. 委託契約

- ・ 履行期間 令和8年7月〇〇日 ～ 令和9年1月31日
- ・ 審査委員会で選定された最も優れた提案の提出者に対し、本業務に係る委託契約の第1位交渉権が与えられます。
- ・ 第1位交渉権を与えられた者が契約までの間に失格事項が判明した場合又は辞退した場合は、交渉権を失います。その場合、第2位の者に対して交渉権が与えられるものとします。
- ・ 契約締結後においても失格事項又は不正行為と認められる行為が判明した時は、契約の解除ができるものとします。

様式1 (一次審査用)

参加表明書

(業務名) 日田商工会議所会館工事 基本・実施設計監理委託業務

標記業務について、関係書類を添えて参加表明書を提出します。

令和 年 月 日

日田商工会議所 会頭 瀬戸 亨一郎 殿

(提出者) 住所

電話番号

提出者名

代表者

(作成者) 担当部署

氏名

F A X

E - Mail

様式2 (一次審査用)

(共同企業体の場合は、各者1枚として全構成員分を作成すること)

設計事務所の概要

| 事務所名 | | 建築士事務所登録 種別 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人 | | | | |
|--|-------|---|----|-------------|---|----|
| | | 登録番号 | | 登録年月日 | | |
| 技術職員・資格 | | | | | | |
| 分野 | 資格・担当 | | 人数 | 人数計 | | 合計 |
| 建築 | 一級建築士 | 意匠 | 人 | 意匠 | 人 | |
| | | 構造 | 人 | 構造 | 人 | |
| | | 積算 | 人 | 積算 | 人 | |
| | その他 | 意匠 | 人 | うち構造設計一級建築士 | 人 | |
| | | 構造 | 人 | うち設備設計一級建築士 | 人 | |
| | | 積算 | 人 | | | |
| 電気設備 | 建築設備士 | | | 設計 | 人 | |
| | 技術士 | | | | | |
| | その他 | | | | | |
| その他 | | | | | | |
| 備考 | | | | | | |
| <p>1. 複数の分野を担当とする職員については、最も専門とする分野に記入して下さい。</p> <p>2. 複数の資格を有する職員についてはいずれか一つの資格の保有者として下さい。</p> | | | | | | |

設計事務所の実績

業務実績

| 業務名 | 発注者 | 受注形態 | 施設の概要 | | | | 設計業務 完成年月 |
|------------------|-----|------|-------|----------|----|------|--------------|
| | | | 用途 | 構造 階数 | 面積 | 完成年月 | |
| 同 種 業 務 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

注意事項

- 1 業務実務については、令和〇〇年〇〇月以降に竣工若しくは施行中又は実施設計が完了した実績を記入すること。特に木質系の実績についても記入して下さい。
- 2 受注形態は、単独、JV又は協力（協力事務所としての参画）の別を記入すること。
- 3 業務実勢に掲げた業務の写真等がありましたら、添付して下さい。

様式4 (一次審査用)

協力事務所の調書

| | |
|---------------------|------|
| 事務所名 | 代表者名 |
| 所在地 | |
| 協力を受ける理由 及び具体的内容 | |
| 分担業務分野 | |
| | |

| | |
|---------------------|------|
| 事務所名 | 代表者名 |
| 所在地 | |
| 協力を受ける理由 及び具体的内容 | |
| 分担業務分野 | |
| | |

| | |
|---------------------|------|
| 事務所名 | 代表者名 |
| 所在地 | |
| 協力を受ける理由 及び具体的内容 | |
| 分担業務分野 | |
| | |

様式5 (一次審査用)

業務実施体制

| | 予定技術者 | 所属・役職 | 業務内容 |
|---------|-------|-------|------|
| 統括責任技術者 | | | |
| 管理技術者 | | | |
| 担当技術者 | | | |
| | | | |

注：氏名にはふりがなをふること

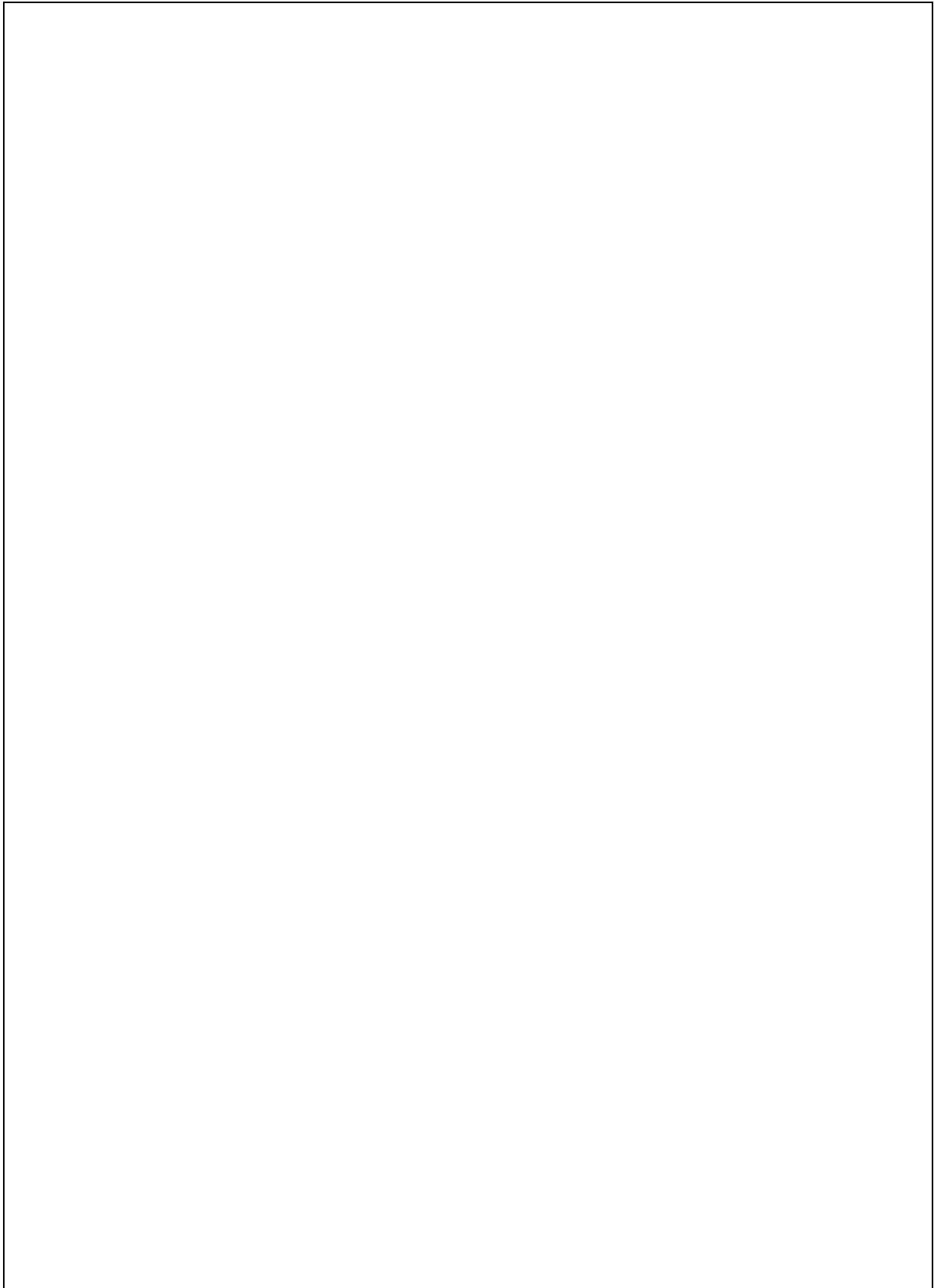
| 分担業務の内容 | 再委託先又は協力先及びその理由 |
|---------|-----------------|
| 意匠 | |
| 構造 | |
| 設備 | |
| | |

注：他のコンサルタント等に当該業務の一部を再委任する場合のみ記載すること。

但し、業務の主たる部分を再委託してはならない。

様式6 (一次審査用)

日田産物活用の課題と解決について

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying the majority of the page below the title. It is intended for the user to write their response to the question '日田産物活用の課題と解決について'.

質問書

(業務名) 日田商工会議所会館建設工事基本・実施設計監理業務委託

標記業務のプロポーザルについて、次の項目を質問します。

日田商工会議所会館建設担当 宛

住 所：

商号又は名称：

代 表 者：

担 当 者：

電 話 番 号：

F A X：

E メ ー ル：

印

質問内容

資料 1

必要所室

(規模目安)

| 機能 | | 内容 | 大きさ |
|------------------|-------------------|------------------------------|-------------------------|
| 基本機能 | 事務室 | 職員が執務する空間、コピー、印刷等 (商工会議所) | 120 m ² |
| | 相談コーナー | お客様相談コーナー | 24 m ² |
| | 会議室等 | 大会議室 | 140 m ² |
| | | 椅子、机等収納スペース | 40 m ² |
| | | 中会議室 | 24 m ² |
| | | 小会議室 | |
| | 応接室 | 来客用+会頭室 | 24 m ² |
| | 書庫、倉庫 | 書類等を保管する場所 | 24 m ² |
| | その他 利用施設 | 男女更衣室 (休養スペース) | 12 m ² × 2 室 |
| | | テナント (アクサ生命) | 48 m ² |
| | | テナント (日田玖珠法人会) | 24 m ² |
| | | テナント (ライオンズクラブ) | 24 m ² |
| | | テナント (ロータリークラブ) | 24 m ² |
| テナント (アイ・テイ・アサヒ) | | 24 m ² | |
| テナント (日田石油商業組合) | | 24 m ² | |
| テナント (日田青年会議所) | | 24 m ² | |
| テナント (ジョブカフェ日田) | | 24 m ² | |
| 共有部分 | 給湯室、男女トイレ、身障者用トイレ | | |
| | エントランス、カウンター、通路 | | |
| | | 合計 | 750 m ² |
| 駐車場 (敷地内) | 60 台程度 | | |

※延床面積で、750 m²以内とする。

井上 正文 (イノウエ マサフミ) 氏プロフィール

学 歴

昭和48年3月 九州大学 工学部 建築学科卒業
昭和50年3月 九州大学 工学研究科 建築学専攻修士課程修了

職 歴

昭和54年10月～昭和59年12月 大分大学 工学部 講師
昭和60年 1月～平成 9年12月 大分大学 工学部 助教授
平成10年 1月～平成28年 3月 大分大学 工学部 教授
[平成21年10月～平成25年 9月 大分大学 工学部 学部長]
平成28年 4月～令和 3年 3月 日本文理大学 工学部建築学科 教授
[平成28年 5月～令和 3年 5月 大分大学 名誉教授]
令和 3年 5月 大分大学 理工学部 名誉教授

設計・研究履歴

日本建築士会連合会 理事、副会長
日本木材学会 理事、九州支部長・理事
日本木材加工技術協会 九州支部長・理事
日本建築学会 九州支部大分支所長
大分県建築士会 会長
大分県建築構造技術センター 代表理事
大分県木造建築研究会 会長
大分県建築審査会 会長 他

所属団体

大分県建築士会
大分県木造建築研究会
日本建築構造技術者協会
日本木材学会九州支部
日本建築学会
木の建築フォーラム

研究分野

ライフサイエンス／木質科学
社会基盤（土木・建築・防災）／建築構造、材料

受賞歴

平成15年 日本木材学会地域学術振興賞
平成16年 日本建築士会連合会会長表彰
平成17年 日本木材加工技術賞
” 木質材料・木質構造技術研究基金第2部門賞（大熊幹章賞）
平成20年 全国建築審査会協議会会長表彰
平成25年 大分県知事功労者表彰
平成29年 国土交通大臣表彰
令和 元年 ” 他

田中 圭 (タナカ ケイ) 氏プロフィール

学 歴

平成10年3月 大分大学 医学部 建設工学科卒業
平成12年3月 大分大学大学院 工学研究科 建設工学専攻修士課程修了
平成20年9月 九州大学大学院 人間環境学府空間システム専攻

職 歴

平成12年4月～平成19年3月 大分大学工学部 助手
平成19年4月～平成28年3月 大分大学工学部 助教
平成28年4月～平成29年3月 大分大学工学部 准教授
平成29年4月～現在 大分大学理工学部 准教授

所属団体

日本林学会九州支部
日本木材学会
日本建築学会

研究分野

ライフサイエンス／木質科学
社会基盤（土木・建築・防災）／建築構造、材料

受賞歴

平成16年 日本木材学会九州支部黎明研究者賞
平成17年 日本木材加工技術賞
平成26年 木質材料・木質構造技術研究基金第2部門賞（大熊幹章賞）
令和4年 中小企業優秀新技術・新製品賞産学官連携特別賞

三浦 逸朗（ミウラ イチロウ）氏プロフィール

学 歴

平成 2 年 3 月 芝浦工業大学 工学部 建築学科卒業
平成 4 年 3 月 芝浦工業大学大学院 工学研究科 建設工学専攻修士課程修了
平成 24 年 3 月 九州大学大学院 生物資源環境科学府 森林資源科学専攻

職 歴

平成 18 年 4 月～平成 21 年 3 月 大分県地球温暖化防止活動推進センター センター長
平成 25 年 1 月～平成 29 年 3 月 公益財団法人おおいた共創基金 理事長
平成 25 年 4 月～平成 29 年 3 月 おおいたボランティアセンター センター長
平成 30 年 6 月～令和 2 年 5 月 公益社団法人日本建築家協会九州支部大分地域会 会長
平成 16 年 4 月 認定指定特定非営利法人地球環境ネットワーク代表理事
平成 25 年 4 月 公益財団法人森林ネットおおいた 評議員
令和 3 年 4 月 日本文理大学工学部 建築学科 教授

設計・研究履歴

平成 11 年 11 月～ 一級建築士事務所ミウラクワノパートナーシップ有限会社
代表取締役 現在に至る

所属団体

都市住宅学会
林業経済学会

研究分野

環境・農学／環境政策、環境配慮型社会／木材トレーサビリティ
社会基盤（土木・建築・防災）／建築計画、都市計画／木質構造

受賞歴

平成 2 年 芝浦工業大学卒業設計ディプロマ賞優秀賞
平成 22 年 日本計画行政学会 計画賞

服部 浩治（ハットリ コウジ）氏プロフィール

学 歴

平成 8 年 3 月 名古屋大学農学部林産学科卒業

職 歴

平成 8 年 4 月～ 農林水産省入省（国家公務員 I 種試験）
以来、林野庁木材産業課、木材貿易対策室、海外林業協力室において、
公共建築物等木材利用促進法の制定、木造中高層建築物の技術開発の支
援、E P A、T P P、H W P、I T T O、F A O、U N F F、S D G s な
どの国際交渉を担当
令和 3 年 4 月～ 林野庁広報官（広報室長）

（出向）

平成 1 0 年 4 月～（2 年間） 大分県大山町役場総合企画室、農林振興課
平成 1 2 年 4 月～（2 年間） 国土交通省住宅局住宅生産課木造住宅振興室 係長
（住宅品確法、木造住宅振興、大工・工務店対策など）
平成 1 6 年 3 月～（3 年間） 外務省在マレーシア日本大使館 二等書記官
（日マレーシア E P A、農林水産・環境、技術協力など）
平成 1 9 年 4 月～（2 年 4 ヶ月） 環境省地球環境局環境保全対策課 課長補佐
（国際的森林・砂漠化問題、G 8 環境大臣会合、洞爺湖サミ
ット等）
平成 2 9 年 4 月～（2 年間） 北海道水産林務部林務局 森林計画課長
（森林環境譲与税、森林経営管理制度、林地台帳、市町村
支援など）
令和 6 年 4 月～ 日田市役所 副市長

資 格

- ・技術士（森林部門／林産）
- ・森林総合監理士
- ・二級建築士
- ・宅地建物取引士
- ・防災士
- ・被災建築物応急危険度判定士
- ・教員免許（中学・高校／理科）